

## 1. 市総合戦略の体系

## ○市総合戦略の基本方針

- ・近年、全国的な少子高齢化、人口減少の中で、木津川市は多くの子育て世代に魅力あるまちとして選ばれ、人口が着実に増加していることから、子育て・子育てのまちづくりを一層充実させることとし、戦略の柱は「子育て」、戦略のスローガンは「子ども育マチ・きづがわいい」とする第1期市総合戦略を継承することとしました。
- ・若者を中心とした人口流出の抑制、出産・子育て環境の整備、雇用の確保、情報通信技術の活用、市内外の連携・交流促進といった木津川市の課題を踏まえ、Society5.0の実現に向けた技術の活用や、持続可能な開発目標「SDGs」を原動力とした地方創生などの新しい時代の流れを力にして、一人でも多くの方により魅力あるまちづくりを実感いただくため、第1期市総合戦略の3つの姿勢を継承しつつ、6つの基本目標を定めました。

## 戦略スローガン

## 子ども育マチ・きづがわいい

「かわいい」と「木津川良い」を合わせ「Lovely & Good」という意味の造語です。「かわいい」には、愛される、惹きつける、癒される、魅力あるという複合的な意味もあり、「広く・長く・愛される」まちとして伸びていく想いをこめています。

## 姿勢 1 誰もが「住みたい」と思えるまち

歴史・文化・自然豊かで良質な住環境や学研都市の最先端技術が共存し、鉄道・道路などの多様な交通利便性を兼ね備えるなど、魅力ある「住みたいまち」の実現による移住・定住の促進を目指します。

## 姿勢 2 誰もが「住み続けたい」と思えるまち

若い世代、とりわけ子育て世代のために、仕事と家庭の両立がかなう環境づくりや、学研都市の企業集積、産業の振興・活性化による安定した市内における雇用確保を実現し、「住み続けたい」まちづくりを推進します。

## 姿勢 3 誰もが「住んでよかった」と思えるまち

地域と、地域や市外との交流、また、新しく移り住んできた人同士や、既存住民との交流などを通して、地域に対する理解や愛着、誇りを醸成し、「住んでよかった」と思えるまちづくりを推進します。

基本目標1	学研都市としての特性を活かした産業の活性化、企業誘致・立地による雇用と就業の創出
基本目標2	「交流人口」「関係人口」の増加、地域住民による「地域活性化・観光」の展開
基本目標3	「子育て支援 No.1」を目指した施策の充実
基本目標4	小さな拠点を活用した誰もが活躍できる個性と魅力あふれる地域コミュニティの充実
基本目標5	地元教育機関や企業との連携によるまちの活性化
基本目標6	まちづくりに取り組む、取り組もうとする人材の支援・創出

## 1. 市総合戦略の体系

○若者を中心とした人口流出の抑制と木津川市への流入促進、雇用の確保、出産・子育て環境の整備、地域の連携・交流の促進といった木津川市の課題を踏まえ、一人でも多くの方に「木津川市に住みたい、住み続けたい、住んでよかった。」と実感いただけるよう魅力あるまちづくりを進めるため、次の姿勢の下、6つの基本目標を定めました。

○本市では、子育て世帯の人口が増加していることから、市総合戦略の柱を「子育て」とし、子育て・子育てのまちづくりを充実するため、スローガンを定めました。

## 戦略スローガン

## 子ども育マチ・きづがわいい

「かわいい」と「木津川良い」を合わせ「Lovely & Good」という意味の造語です。「かわいい」には、愛される、惹きつける、癒される、魅力あるという複合的な意味もあり、「広く・長く・愛される」まちとして伸びていく想いをこめています。

## 姿勢 1 誰もが「住みたい」と思えるまち

歴史・文化・自然豊かで良質な住環境や学研都市の最先端技術が共存し、鉄道・道路などの多様な交通利便性を兼ね備えるなど、魅力ある「住みたいまち」の実現による移住・定住の促進を目指します。

## 姿勢 2 誰もが「住み続けたい」と思えるまち

若い世代、とりわけ子育て世代のために、仕事と家庭の両立がかなう環境づくりや、学研都市の企業集積、都市近郊農業産業の振興・活性化による安定した市内における雇用確保を実現し、「住み続けたい」まちづくりを推進します。

## 姿勢 3 誰もが「住んでよかった」と思えるまち

地域と、地域や市外との交流、また、新しく移り住んできた人同士や、既存住民との交流などを通して、地域に対する理解や愛着、誇りを醸成し、「住んでよかった」と思えるまちづくりを推進します。

基本目標1	学研都市としての特性を活かした産業の活性化、都市近郊農業の振興・活性化、企業誘致・立地による雇用と就業の創出
基本目標2	交流人口の増加、地域住民による「地域活性化・観光」の展開
基本目標3	「子育て No.1」を目指した施策の充実
基本目標4	小さな拠点を活用した個性と魅力あふれる地域コミュニティの充実
基本目標5	地元教育機関や企業との連携によるまちの活性化
基本目標6	まちづくりに取り組む、取り組もうとする人材の支援・創出

2. 基本目標と施策について

基本目標 1 学研都市としての特性を活かした産業の活性化、企業誘致・立地による雇用と就業の創出
①最先端の研究成果を活かした新産業・新事業の創出 ②安定した付加価値の高い農業の振興 ③創業支援など雇用対策の充実
基本目標 2 「交流人口」「関係人口」の増加、地域住民による「地域活性化・観光」の展開
①歴史遺産等の保全・活用によるまちづくり      ⑤山城森林公園の利活用 ②歴史文化遺産を活用した観光振興の促進 ③安心して観光できる案内機能の充実 ④学研木津北地区の利活用
基本目標 3 「子育て支援No.1」を目指した施策の充実
①安心して、楽しみながら子育てができる支援の充実 ②保育の「質」向上と待機児童ゼロの継続 ③新しい時代の流れを力にした最先端の教育環境の充実
基本目標 4 小さな拠点を活用した誰もが活躍できる個性と魅力あふれる地域コミュニティの充実
①地域公共交通ネットワークの充実 ②公共施設の利活用 ③安心・安全な暮らしの向上
基本目標 5 地元教育機関や企業との連携によるまちの活性化
①京都大学大学院農学研究科附属農場との連携 ②立地企業との協働や様々な教育機関との連携
基本目標 6 まちづくりに取り組む、取り組もうとする人材の支援・創出
①多様・多彩な、人と人とのつながりのあるまちづくりの実現 ②伝統産業やアートを中心としたヒトづくり ③移住・定住の促進 ④健康長寿のまちづくり

2. 基本目標と施策について

基本目標 1 学研都市としての特性を活かした産業の活性化、都市近郊農業の振興・活性化、企業誘致・立地による雇用と就業の創出
①最先端の研究成果を活かした新産業・新事業の創出 ②安定した付加価値の高い農業の振興 ③創業支援など雇用対策の充実
基本目標 2 交流人口の増加、地域住民による「地域活性化・観光」の展開
①歴史遺産等の保全・活用によるまちづくり ②観光地の回遊システムの構築支援 ③安心して観光できる案内機能の充実 ④学研木津北地区の利活用
基本目標 3 「子育て支援No.1」を目指した施策の充実
①安心して、楽しみながら子育てができる支援の充実 ②保育の「質」向上と待機児童ゼロの継続 ③ICT*教育など最先端の教育環境の充実
基本目標 4 小さな拠点を活用した個性と魅力あふれる地域コミュニティの充実
①地域公共交通ネットワークの充実 ②公共施設の有効活用 ③伝統的まちなみや景観の保全と活用 ④安心・安全な暮らしの向上
基本目標 5 地元教育機関や企業との連携によるまちの活性化
①京都大学大学院農学研究科との連携 ②立地企業や様々な教育機関との連携
基本目標 6 まちづくりに取り組む、取り組もうとする人材の支援・創出
①多様・多彩な、人と人とのつながりのあるまちづくりの実現 ②歴史文化遺産等の情報発信によるまちづくり ③まちに関する情報サイトの設置による移住・定住の促進